

公開講演会

東京国際大学国際交流研究所

「アラブの春」のその後・・・イスラーム諸国の政治と宗教

参加自由（無料）

※事前申し込みは必要ありません。当日、直接会場にお越し下さい。

2012. 12. 8（土曜日）14：00～18：00

東京国際大学早稲田キャンパス、マルチホール

講演は翻訳ペーパー付、質疑応答は通訳付です。興味のある方はお気軽にご参加ください。

①「リビアの挑戦とイスラームの役割——個人的経験から」（14：00～16：00）

“Challenges Facing Libya-Role of Islam-a personal experience”

【講師】アメット・ナイリ博士、リビア、商学博士（明治大学）

リビア外務・国際協力省国際機関局勤務、リビア専門職高等研究所・講師



Dr. Ahmed NAILI, Lecturer, Higher Institute for Preparing Trainers
(Engineering and Management & Administration), Ragdaline - Libya

②「タジキスタンのイスラーム復興」（16：00～18：00）

“The revival of Islam in post-Soviet independent Tajikistan”

【講師】ズバイドゥロ・ウバイドゥロエフ博士、タジキスタン、

国際政治経済学博士（筑波大学）

タジキスタン科学アカデミー、インド・パキスタン部局、上席研究員



Dr. Zubaidullo UBAIDULLOEV, Senior Research Fellow, Department of India
and Pakistan, Rudaki Institute of Language, Literature, Oriental Studies
and Written Heritage, Academy of Sciences of the Republic of Tajikistan

主催：科学研究費補助金基盤研究（A）「変革期のイスラーム社会における宗教の新たな課題と役割に関する調査・研究」（代表：塩尻和子、東京国際大学 国際交流研究所長）

問合せ先：Tel：049-277-5837（東京国際大学 国際交流課 担当：宮川）

E-mail：iiet@tiu.ac.jp（東京国際大学 国際交流研究所）

【講師紹介】

アメット・ナイリ博士は 2012年4月まで在日リビア大使館参事官として、民衆蜂起前後の祖国の激変の対応を行い、現在はリビアで外務・国際協力省の国際機関局に所属しています。日本での任務を終えて帰国後、国民会議選挙に出馬、残念ながら落選しましたが、変革期のリビア国政を経験したことから、国内の宗教と政治の関係などについてお話していただく予定です。

ズバイドウロ・ウバイドウロエフ博士は 2010年に筑波大学大学院にて博士号取得後、母国タジキスタン科学アカデミーの研究員として働いています。本年10月から半年の予定で筑波大学非常勤研究員を勤めています。ソ連から独立したのちのタジキスタンおよび中央アジアの宗教復興と、北アフリカの民衆蜂起の影響を受けた社会の変化についてお話していただく予定です。

会場：東京国際大学早稲田キャンパス 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-6-1

TEL 03 (3205) 7727 (当日のみ)

アクセス：東京メトロ東西線「早稲田」駅下車徒歩約5分（2番または3b番出口）

東京メトロ副都心線「西早稲田」駅下車徒歩約7分（2番出口）

JR「高田馬場」駅下車徒歩約20分

都営バス「馬場下町」停留所下車徒歩約4分

